



道

学校の教育目標
「ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成」

親子（家族）読書のすすめ

校長 宮島和生

立山連峰の峰々の雪化粧が始まりました。あっという間に秋が通り過ぎ、早くも冬の足音が近付いてきました。学校では、体育館から毎日のように軽快な音楽が聞こえ、学習発表会に向けて子供たちが熱のこもった練習を行っています。

さて、10月27（火）～11月9日（月）は読書週間です。子供たちは、家庭でどのくらい本に親しんでいるでしょうか。読書のよい所は、自分のペースで進めることができることです。保護者の方も経験があると思いますが、興味のある内容ならば、最後のページまで一気に読み進めることもあります。少し難しい内容のものは、少しずつ読むこともできます。

学校では、夢の本委員会が読書週間に合わせて、物語や歴史・伝記、動物・植物等のジャンルをビンゴカードにした「読書ビンゴ」を作成し、読書の機会が増えるように工夫しています。また、昼の校内放送で新刊の紹介を行って来ています。この機会に読書好きの子供が増えることを期待しています。

教科書にのっている本	環境・水問題	推理・探偵
動物・植物	少年の冒険	社会・地理
文学	歴史・伝記	物語

ビンゴカードの一部

子供たちに本への興味をもってもらうために、保護者のみなさんに、家族で一冊の本を読み合う「親子（家族）読書」をお勧め

親子（家族）読書のすすめ

- ・一冊の同じ本を、親子（家族）で読む。
- ・子供が読むのを、親（家族）が聞く。
- ・親（家族）が読むのを、子供が聞く。
- ・家族で交代読みする。
- ・読み終わったら、親子（家族）で感想を話し合う。
- ・親（家族）が読み聞かせする。
- ・親子（家族）で最近読んだ本を紹介し合う。 など



めしたいと思います。同じ本を子供と家族が読み合うだけでなく、いろいろな方法があり、やり方は自由です。読む本も文字数の多いものばかりでなく絵本や図鑑でもよいと思います。

読書は、私たちの知らない世界に案内してくれ、たくさんのことを教えてくれます。また、言葉を学び、心を豊かにし

表現力や創造力を高めることができます。

ぜひ、親子（家族）読書を通して、感動や発見を共有し、コミュニケーションや絆を深めてみましょう。

今週末は、学習発表会です。運動会と同様に入場人数の制限や感染予防等、制約が多い中での実施となりますが、子供たちの日頃の学習の成果や生き生きとした表現活動をご覧いただきたいと思います。ご来場をお待ちしています。